

座右の銘



教育随想

岡崎市教育委員会

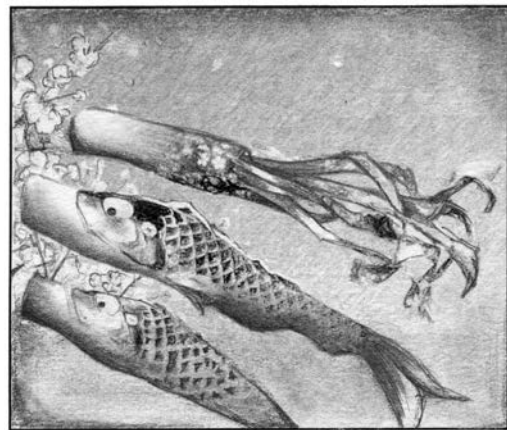
委員 小森 保生 氏

山口、白井、鈴木、小林、宮田、中内、井上、鈴木。アイドルでも、漫画の主人公でもないこれらの名前は、私の脳裏に刻みこまれている、小一から中三までの私の担任の先生方のお名前です。睡眠時間を除けば、起きている時間の五分の三を一緒に過ごしていただいた先生方です。以下、懐かしい記憶を呼び戻します。

低学年のころ、オルガンを弾くという宿題が出ました。オルガンはるか、おもちゃのピアノもなかった我が家において、これは難しい宿題でした。私は鍵盤を紙に書いて段ボール箱に貼り、毎日練習しました。発表の日、オルガンを弾き終えると先生がたいそうほめてくださいました。これが私の初めての成功体験であったと思います。

高学年になった夏休みに、何かを毎日続けるという宿題が出ました。私は友達と毎日プールへ行くことにしました。青果市場でスイカを荷台から降ろす手伝いをしてお駄賃ももらい、毎日泳ぎまわりました。休みが終る頃には緑がかかった赤銅色の日焼けが完成し、新学期に皆の前で、毎日のプール通いと日焼けをほめていただきました。

中学一年の時、担任の先生が、「後期の生徒会副会長に立候補しなさい」と無茶な発案をされました。先生は「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」と何度も何度もおっしゃられて、ついに私は為せば成るのかなと立候補。もちろん落選したことは言うまでもありませんが、この時の言葉が、



これまでの成功体験に合致していると感じ、以後この言葉を座右の銘にしています。

七十歳を目前にして、先生との出会い、先生の言動がどれほど子ども達に大きな影響を与えるものかと、思いを馳せる今日この頃です。

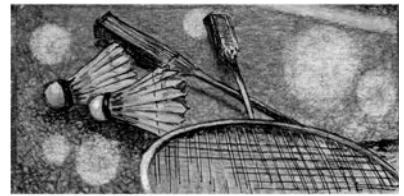
(こもり やすお)



令和6年5月1日
5月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
岡崎市教育委員会
委員 小森 保生 氏
- この人に聞く…………… 2
第十一回世界バドミントン選手権大会
男子ダブルス金メダリスト
青山 伸幸 氏
- 羅 針 盤…………… 2
音楽科指導員 三輪佳奈子
- ふれあい…………… 3
六ツ美中学校
教諭 大竹紗弥加
- 特 集…………… 4
子供たちの笑顔と命を守る水泳学習
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー…………… 8
校内緑化計画(昭和57年)
- この本を…………… 8



生涯バドミントン選手

第十一回世界バドミントン選手権大会
男子ダブルス金メダリスト

青山 伸幸氏

バドミントンを続けて五十年。七十歳から七十四歳の部で、男子ダブルスでは世界一となり、本大会において三つのメダルを獲得した。「愛知の鉄人」と呼ばれ、栄光をつかみまでの人生についてお聞きした。

—「愛知の鉄人」と呼ばれるまでの歩みを教えてください—

高校の先輩に勧められ、軽い気持ちでバドミントンを始めました。高校卒業後、就職・結婚等で一旦競技から離れていましたが、二十六歳のとき、もう一度やってみたくなり、社会人チームに入りました。周囲は、第一線で活躍していた人ばかりで、最初はなかなか試合で勝つことができませんでした。どうすれば勝てるかを考え、仲間と走り込みや、ノック打ちという激しい練習を行いました。しかし、無理な練習を続けた結

果、四十歳でアキレス腱を損傷し、一年間練習を休むことになりました。

そこで体のケアの大切さを実感し、けがをしない体づくりを一番に考えたトレーニングを始めました。バドミントンの練習は週一回、筋力トレーニングを週三回行うようにしました。体重は現状を維持し、持久力をつけ、けがをしないことを第一の目標としました。また、水曜日はトレーニングをしない日と決め、無理をせず続けることを意識しました。

その結果、三十五年たった今も競技を続けることができています。トレーニングを積むうちに、徐々にプレイに余裕が生まれ、無駄な力が入らないようになりました。力を抜くことで、けがを防ぎ、試合中、息切れをすることもなくなりました。また、体幹がよいと言われることも増えました。自己流の練習ですが、これでよいのだと、自信がもてるようになりました。いつの間にかバドミントン界で注目され、「愛知の鉄人」と呼ばれるようになっていました。

—継続の秘訣は何ですか—

第一に、楽しみ続けることです。バドミントンは、心理戦です。相手の選手の動きの裏を読み、嫌がることを攻め、それが成功すると、とても楽しくなります。継続したトレーニングによりスタミナがついたことで、試合中に相手の動きがよく見えるようになりました。そのため、戦いながら作戦を立て、実行し、それが成功することが多くなり、より楽

しいと感じるようになりました。

第二に、試合で勝つ喜びを味わうことです。初めて出場した世界シニアバドミントン選手権大会では、試合直前、「外国の選手や、世界チャンピオンと戦えるんだ」と、わくわくした気持ちが沸々と込み上げてきました。連日、多くの試合を行いました。連日、多くの試合を行いました。連日、多くの試合を行いました。

男子ダブルスの決勝戦では、劣勢だったファイナルセットで、連続四ポイントを取得し、逆転優勝を決めることができました。その瞬間に味わった体が震えるほどの高揚感は今でも鮮明に覚えています。

—挑戦したいことはありますか—

今度は、七十五歳から七十九歳の部に挑戦し、連覇を目指します。辛い大きな体のけがもなく、競技を続けることができています。健康な状態が続けば、生涯バドミントン選手として活躍したいと思います。

子供たちにも、楽しいと思う気持ちを大切にしてほしいと思っています。何かに挑戦し、壁にぶち当たったら、次どうすればいいかを考える。そして、また挑戦する。これを繰り返すことで、物事に熱中し、困難を乗り越え、楽しみ続けることができます。それは、子供も大人も同じではないでしょうか。



氏名 あおやまのぶゆき
生年月日 昭和二十四年八月二十三日
住所 岡崎市細川町



見えない音を捉えて

音楽科指導員 三輪佳奈子

「歌をよりよくする工夫を考えよう」
小学四年生音楽の授業でA教諭の出した課題は、歌唱の授業でよく示されるが、難しい内容だ。まず、歌声の現状を捉える。そこから課題を見つけ、目指す歌声に近づけるための解決策を考える。「こう歌いたい」という子供同士の思いの共有が大切だが、それを明確に伝え合い、歌声で表現することは簡単ではない。

A教諭は一つの曲を四つの部分に分けて子供にお気に入りの部分を選ばせ、同じ部分を選んだ子供同士でチームを組ませた。子供は、楽譜と音でその部分を考察して、どんな風に歌いたいかを話し合う。

「ここはそれぞれ違う音だけど、下の音より上の音を聴かせたいよね。」
「分かる。主役だもん。どうしたら。」
「下のパートは少しゆっくり歌う感じにしたらどうかな。」



チャレンジへの一歩

六ツ美中学校

教諭 大竹紗弥加

「先生は跳べると言ってくれたのに悔しい。跳べるようになりたい。」

大粒の涙をこぼしながら話すAさんの姿を見て、軽はずみに「跳べるよ」と言ったことを反省した。

Aさんは、初めてやることに對して不安を抱きやすく、チャレンジへの一歩を踏み出すのに時間がかかる。私はその度に話を聞き、安心して物事に取り組めるよう支えてきた。

ある日の体育の授業前、Aさんは私に、「跳び箱、跳べるか少し不安」とつぶやいた。準備運動の馬跳びができていたため、「これだけ馬跳びができるようになったなら、きつと跳び箱も跳べるよ」と声をかけた。しかし、その表情は晴れなかった。

Aさんの心配は当たっていた。いざ跳ぼうと助走を始めても、跳び箱に近づくとロイター板の上で足が止まってしまった。「今回も開脚跳びが

クリアできませんでした」Aさんの振り返りカードに書かれていた一文に、どきりとした。同時に跳び箱に恐怖を感じるAさんの心に寄り添い、願いを達成させたいと強く思った。

次時は、Aさんの恐怖心を減らすために、高跳び用のセーフティマットを用意し、何度もスーパーマンのようにマットに跳び込ませた。「全然痛くない」と笑顔を見せるAさんに、「体を横向きにしても跳び込めるかな」と聞くと、元氣よく「やってみます」と言ってみて跳び込むことを楽しんでた。「これならつまずいて落ちて大丈夫そう」と、Aさんは、マットを触りながら安心した表情を見せた。

跳び箱の上に膝を乗せられる回数が増えてきたAさんに、「跳び箱にのれるようになったね。不安は減ったかな」と、声をかけた。すると、「うん。怖くなくなつた。でも、どうやったら跳べるか分からない」と返事が返ってきた。そこで、Aさんを応援していた友達とチームを組ませ、タブレットで跳ぶ様子を互いに撮り合い、見比べるよう提案した。

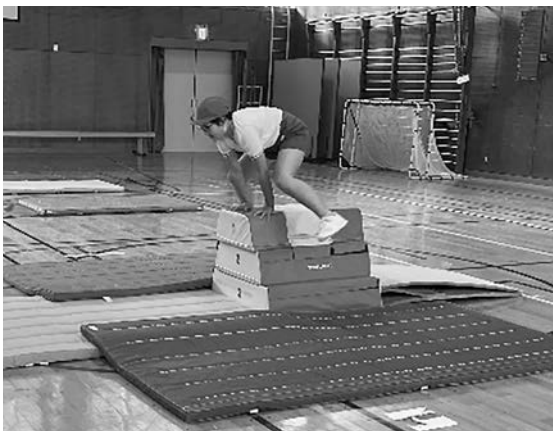
しばらくして、「Bさんを見ると、ジャンプする位置はこの辺りがよさそう」と気が付いたAさん。仲間からの「ジャンプしてからぐつと手前に出すといいよ」などのアドバイ

スも熱心に聞く様子が見られた。一度も成功しないまま迎えた授業最終日。「今日こそは跳びたい」と言

うAさんに、「今まで見つけた開脚跳びのポイントを確認しながら跳んでみよう」と声をかけた。Aさんは力強く頷き、何度も挑戦した。もう少しで跳びこせそうな様子に、「あと少しだよ」が「がんばれ」と周りで見ていた仲間たちから声がかかった。

そして、ついにその時は訪れた。跳び箱に手をついたAさんの体はふわっと持ち上がり、奥のマットへ着地した。その瞬間、周りの友達から大きな歓声が上がリ、Aさんは、驚きと喜びで少し照れた表情を見せた。

振り返りカードには、「今日、初めて跳び箱が跳べました。最初は怖かったけど、挑戦してよかったです」と、跳び箱が跳べるようになった喜びや、これからのいろいろなことに挑戦したいという思いが綴られていた。



と、お気に入りの部分が同じ者同士の共感を伴う発言により、チーム内に安心感が生まれ、子供たちの思いや考えが次々にあふれ出した。

次にA教諭は、チームごとの歌唱をタブレットに録音し、それを聴いて課題と工夫を考えるように促した。聴くときは、チーム全員がイヤホンをつないで聴けるスプリッターを使った。児童Bは、チームの中でも特に歌声が大きく、自分がしっかりと歌わないといけないと言っていた。しかし、録音を聴いて、「自分の声ばかり聞こえる。これじゃあだめだ。声を小さくしようか」と、少しがっかりして伝えた。そんなBに、仲間は「それじゃあ元氣がなくなっちゃうよ。他の子はもう少し強く。あとパートの人数を変えてみよう」と言って、練習を始めた。チームの歌声を客観的に捉え、互いの声を生かして課題を解決しようとする姿があった。各パートの強弱バランスに気を付けて聴き合って歌う。合唱における大切な点を、歌唱を通して見つけ出すことができた。

見えない音を捉え、言葉にするのは難しい。しかし、思いや意図をもって表現する力を育むために、思いを共有しようと、子供が音楽を通して試行錯誤する授業を目指したい。

子供たちの笑顔と命を守る水泳学習 外部委託事業



▲着衣泳をおこなう児童

水泳学習を、民間のスイミングスクールに委託する動きがある。令和五年度、岡崎市では、美合小・連尺小・愛宕小・城南小・美川中・新香山中の計六校で実施された。

水泳学習には、水泳の技能向上だけでなく、水の事故から命を守るための方法を身に付けるねらいもある。しかし、現代、水泳学習の実施には多くの課題がある。指導には、事故防止や熱中症対策といった危機管理が不可欠な上に、限られた授業時間数の中で、子供の泳力を向上させることが求められる。また、老朽化が進んで改修が必要なプールも多く、維持管理のコストの大きさが懸念されている。

前述の六校では、児童・生徒、保護者、教師のそれぞれが、外部委託によるメリットを感じている。よりよい水泳学習を維持発展させるために、外部委託も選択肢の一つとして考えられる。しかし、今後、さらに多くの学校で実施するには、恒常的な施設の確保、児童の移動方法等、多くの課題もある。

子供たちの笑顔と命を守る水泳学習の在り方について、今後の動向に注目しながら、より良い方向を目指していきたい。

実施当日の日程

9:35	バス乗車、学校出発
9:40	スイミングスクール到着
9:45	着替え・準備
10:00	水泳学習開始
10:55	水泳学習終了
11:00	着替え
11:15	スイミングスクール出発
11:25	学校到着

実施スケジュールの例(連尺小学校)

	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	計
1年生					3回	2回		5回
2年生					2回	3回		5回
3年生	3回	2回						5回
4年生						1回	4回	5回
5年生			1回	4回				5回
6年生		1回	4回					5回

※4月、5月、8月、2月、3月は実施せず



▲天候に左右されない屋内プール



▲清潔で使いやすい更衣室



▲スクールバスでの移動

実施時の教師の動き

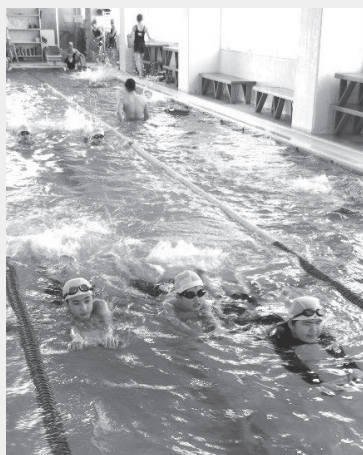
- 〈出発前〉
 - ・日程、参加人数の事前連絡
 - ・児童・生徒の体調確認
 - ・バス移動の引率、人員点呼
- 〈到着後〉
 - ・更衣場所、使用ロッカーの指示
 - ・インストラクターとの打ち合わせ
- 〈学習開始〉
 - ・学習内容の指示
 - ・指導補助、学習の評価、児童・生徒の体調確認、水分補給の指示など
- 〈学習終了〉
 - ・更衣指示
 - ・バス移動の引率、人員点呼
 - ・児童・生徒の体調確認



▲温度管理された環境での水泳学習



▲複数の指導者による指導



▲習熟度別での個々に応じた指導



▲専門的な技術指導

実施校でのそれぞれの声

教師

- インストラクターを見て指導法を学ぶことができる。
- 教師も指導にあたることで、インストラクターと教師の二人体制で個別支援もできてよい。
- プール管理の負担が軽減する。
- ▲交通渋滞等で時間がかかるときがある。

保護者

- 熱中症の心配がなくてよい。
- インストラクターが楽しい方のように、子供は水泳学習の日が来るのを待ち望んでいる。
- 専門家の監視体制があって、安全面でも安心できる。
- ▲寒いときの実施は、学習後に髪が濡れているのが心配。

児童・生徒

- インストラクターと先生の両方に教えてもらえて、できなかったことができるようになった。
- 温水だからどんな天気でも寒くないのが嬉しい。
- 施設がきれいなので嬉しい。
- ▲もう少したくさん水泳の授業があるとよい。



●表彰

◆第24回東海ブロック中学生
バレエボール大会

○男子中学生の部

出場 六ツ美中

◆第17回声楽アンサンブルコ
ンテスト全国大会

〈中学校部門〉

優良賞 竜海中

◆第36回中部日本個人・重奏
コンテスト本大会

〈中学校部門重奏の部〉

○打楽器五重奏

金賞 前田 和香・山川 愛葵

小林 泰遙・橋爪 翠

尾崎 笑鈴

○打楽器四重奏

金賞 北中

小森 愛心・芦刈 深月

焼山 翠久・飯田 虹希

○サクソフォン三重奏

銀賞 原 優奈・牧野 華

吉尾 芽菜

木管八重奏

銅賞

田畑 菜佳・山田 愛莉

伴 菜々子・梅村 空菜

三井 花・中根 純菜

横山 葵・深谷 琉翔

〈中学校部門個人の部〉

○アルトサクソフォン独奏

銀賞 北中 柴田風羽香

○トランペット独奏

銀賞 翔南中 藤林 莉愛

◆第35回読書感想画中央コン
クール

○小学校低学年の部

奨励賞 連尺小 市川 寛郎

○小学校高学年の部

奨励賞 小豆坂小 柴田 環奈

○作文の部

全国連合小学校長会会長賞

本宿中 嶺石 実花

才能開発教育研究財団理事長賞

連尺小 門井 萌衣

◆第1回あいち食農教育表彰

最優秀賞 豊富小

●令和六年度校長会役員

〈小中学校長会〉

会長 児玉 洋行(竜海中)

副会長 牧野 守(井田小)

山内 貴弘(矢作中)

磯村 彰久(福岡小)

会計監査 鈴木 勝久(岡崎小)

森 竜師(福岡中)

岩瀬 竜弥(竜美丘小)

山本 則夫(城北中)

二村 久(城南小)

荒河 昌吾(矢北中)

紀平 高之(大門小)

岡 秀之(南中)

真樹(美川中)

〈小学校長会〉

会長 牧野 守(井田小)

副会長 磯村 彰久(福岡小)

鈴木 勝久(岡崎小)

柴田 知子(三島小)

岩瀬 竜弥(竜美丘小)

高之(大門小)

会計補佐 稲垣 祐嗣(根石小)

〈中学校長会〉

会長 山内 貴弘(矢作中)

副会長 森 竜師(福岡中)

小野 隆義(岩津中)

寺坂 信久(翔南中)

荒河 昌吾(矢北中)

竹平 真仁(竜南中)

長谷川勝一(東海中)

〈専門委員会・委員長〉

法制 太田 幹也(六名小)

教育条件 熊谷 清一(梅園小)

学校経営 清水 孝治(六南小)

夏目 弘之(額田中)

浅井 貞人(上地小)

塚谷 保(小豆坂小)

給食 中 香(本宿小)

生徒指導 板倉 真介(北中)

特別支援 紀平 高之(大門小)

広報 山本 伸(秦梨小)



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

令和5年度 岡崎市教育研究論文 入賞者

■小学校個人の部

最優秀賞

Table with 3 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Entry: 音楽 六名小 竹田 真由 曲に対する自己のイメージをふくらませることで思いや意図をもち、歌うことを心から楽しむ子の育成

優秀賞

Table with 3 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Multiple entries for various subjects like 体育, 国語, 算数, etc.

佳作

Table with 3 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Multiple entries for various subjects like 音楽, 体育, 社会, etc.

■中学校個人の部

最優秀賞

Table with 3 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Entry: 国語 福岡中 太田 秀実 対比読みを通して登場人物の心情に迫ることで、古典文学を共感的に読むことができる生徒の育成

優秀賞

Table with 3 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Multiple entries for subjects like 道徳, 美術, 理科, etc.

佳作

Table with 3 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Multiple entries for subjects like 国語, 数学, 音楽, etc.

■共同の部

最優秀賞

Table with 3 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Entry: 教育全般 北中 現職研修部 代表 西尾 修一 自立的に生きる資質・能力を育む教育の創造

優秀賞

Table with 3 columns: 教科名, 学校名, 氏名, 主 題. Entry: 教育全般 六ツ美北部小 現職研修部 代表 中野 翔太 自立的に生きようとする児童の育成

(論文入賞者数)

Summary table with 5 columns: 賞, 最優秀, 優秀, 佳作, 合計/応募数. Rows for 小学校, 中学校, 小中学校, 合計.

佳作

Table with 3 columns: 教育全般, 愛宕小, 現職研修部 代表 朝岡 正枝. Another entry for 教育全般, 大樹寺小, 現職研修部 代表 山本 純子. Another entry for 教育全般, 矢作北小, 現職研修部 代表 安井 文一.

・カ
ツ
ト

南
中
嶋
田
佑
子

校内緑化計画 (昭和57年)

写真提供：矢作中学校

校舎改築に伴い、取り壊される校舎の屋根瓦などを利用して作られた「矢誓の塔」。緑化活動を終えた生徒が、手入れをした植物と塔を誇らしげに眺めている。

矢作中学校は、昭和五十一年に学校緑化推進校の指定を受け、九年間、校内緑化活動に力を入れた。昭和五十七年からの第三次計画では、生徒の手による自主的・自発的な環境緑化や校内美化を組織的に進めた。また、校内や家庭に委託して取り組む挿し木活動で道徳心を高めた。

美しい花や木々を五感で感じること、子供の健やかな成長に有益である。子供と教師による市内各校の緑化活動は、途絶えることなく推進されている。



本格派の指導を受けた子供たちは、自らの上達を実感し、意欲は高まるばかりである。その熱意に応える授業を実現するためには、教師とインストラクターの連携が最も大切になる。

授業ごとに目標や学習内容をしつかりと共有し、限られた時間をより有意義なものとする意識が必要である。

トレーニングを継続し、心身のケアを第一に考え、地道な練習をこつこつと行う。毎年大会に出場し、試合では、相手の心を読み取ってプレイすることで、楽しさを見出している。本人にとって習慣になつている、これら一つ一つの行動や動作には、無理がない。生涯バドミントンを愛し続けるとともに、世界一の選手になることができた秘訣が、そこには隠されている。

ホ と

五 月



▲総合体育大会応援(南中)

つばの色は日焼けで変色し、帽子の裏側は流した汗で黒ずんでいる。型は崩れ、お世辞にもきれいとは言えないその帽子に、二年間部活動に全身全霊で取り組んだ跡が見える。

最上級生となり、最初の大舞台である総合体育大会。苦楽を共にした仲間と自分を信じて、新年度の初陣に挑んでいく。



*先生、どうか皆の前でほめないで下さい
金間 大介
東洋経済新報社
¥1,500

心に残った一文
人前でほめるくらいなら何も言わないでほしい。

大谷翔平氏や藤井聡太氏など、自らの可能性に挑戦する若者がいる一方で、自己肯定感が低いために窮屈な生活を送っている若者もいる。

本書で気になった言葉に、教師に「目をつけられる」がある。教師にほめられたり指名されたりするなど、当てにされるときに使われる言葉の一つであるそうだ。今の若者にとって、それを聞いた他人の中の自分像が変化したり、自分という存在の印象が強くなったりすることを、ものすごく怖がる傾向が高いことを象徴する言葉である。

子供にとっての活躍の場は、個々に違いがある。それが何かをよく見取り、実践することの大切さを、本書は教えてくれる。

*「子どもに任せる」がうまくいかないあなたへ
庄子 寛之
明治図書
¥1,800

*3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話
中野吉之伴
理論社
¥1,300

*大谷翔平 羽生結弦の育て方
児玉 光雄
幻冬舎
¥1,100

矢作東小学校 矢田 雅彦